

**CASBEE京都-新築(2011年版)**  
**(仮称)京都市下京区朱雀分木町**

■使用評価マニュアル CASBEE京都-新築(2011年)  
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		評価点	重み係数				評価点	重み係数				
<b>Q 建築物の環境品質</b>											<b>2.8</b>	
<b>Q1 室内環境</b>												<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>												3.0
<b>1.1 騒音</b>												3.0
1 室内騒音レベル							3.0	1.00	3.0	0.50		0.50
2 設備騒音対策							-	-	3.0	0.50		0.50
<b>1.2 遮音</b>												3.0
1 開口部遮音性能							3.0	1.00	3.0	0.30		0.30
2 界壁遮音性能							-	-	3.0	0.30		0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	-	3.0	0.20		0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	-	3.0	0.20		0.20
<b>1.3 吸音</b>												-
<b>2 温熱環境</b>												2.7
<b>2.1 室温制御</b>												3.0
1 室温							1.6	0.50	3.0	1.00		1.00
2 高層築物・高層制御性							2.0	0.63	-	-		-
3 外皮性能							-	-	-	-		-
4 ゾーン別制御性							1.0	0.38	3.0	1.00		1.00
5 温度・湿度制御							-	-	-	-		-
6 個別制御							-	-	-	-		-
7 時間外空調に対する配慮							-	-	-	-		-
8 設備の効率							-	-	-	-		-
<b>2.2 湿度制御</b>												1.0
1 湿度制御							1.0	0.20	-	-		-
<b>2.3 空調方式</b>												1.0
1 空調方式							1.0	0.30	-	-		-
<b>3 光・視環境</b>												2.5
<b>3.1 日光利用</b>												2.4
1 日光率							1.8	0.30	2.4	0.50		0.50
2 方位別開口							1.0	0.60	3.0	0.50		0.50
3 日光利用設備							-	-	1.0	0.30		0.30
<b>3.2 グレア対策</b>												3.0
1 照度器具のグレア							2.0	0.30	3.0	0.50		0.50
2 日光制御							2.0	1.00	3.0	1.00		1.00
3 映り込み対策							-	-	-	-		-
<b>3.3 照度</b>												1.0
1 照度							1.0	0.15	-	-		-
<b>3.4 照明制御</b>												3.0
1 照明制御							3.0	0.25	-	-		-
<b>4 空気質環境</b>												3.6
<b>4.1 発生源対策</b>												4.0
1 化学汚染物質							4.0	0.60	4.0	0.63		0.63
2 VOCs対策							4.0	1.00	4.0	1.00		1.00
3 臭気対策							-	-	-	-		-
4 放射線対策							-	-	-	-		-
<b>4.2 換気</b>												3.0
1 換気量							2.0	0.40	3.0	0.38		0.38
2 自然換気性能							3.0	0.50	3.0	0.50		0.50
3 取り入れ外気への配慮							1.0	0.50	-	-		-
4 給気計画							-	-	-	-		-
<b>4.3 運用管理</b>												-
1 CO <sub>2</sub> の監視							-	-	-	-		-
2 喫煙の制御							-	-	-	-		-
<b>Q2 サービス性能</b>												3.1
<b>1 機能性</b>												3.1
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>												3.4
1 広さ・収納性							3.0	0.40	4.0	0.60		0.60
2 高度情報通信設備対応							-	-	4.0	1.00		1.00
3 バリアフリー計画							3.0	1.00	-	-		-
<b>1.2 心理性・快適性</b>												2.5
1 広さ感・景観							1.0	0.30	2.5	0.40		0.40
2 リフレッシュスペース							-	-	4.0	0.50		0.50
3 内装計画							1.0	1.00	1.0	0.50		0.50
<b>1.3 維持管理</b>												-
1 維持管理に配慮した設計							2.0	0.30	-	-		-
2 維持管理用機能の確保							2.0	0.50	-	-		-
2.0							2.0	0.50	-	-		-
<b>2 耐用性・信頼性</b>												2.8
<b>2.1 耐震・免震</b>												3.0
1 耐震性							3.0	0.80	-	-		-
2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-		-
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>												2.9
1 躯体材料の耐用年数							2.9	0.33	-	-		-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							5.0	0.23	-	-		-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							2.0	0.23	-	-		-
4 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							2.0	0.09	-	-		-
5 空調換気ダクトの更新必要間隔							3.0	0.08	-	-		-
6 空調・給排水配管の更新必要間隔							3.0	0.15	-	-		-
7 主要設備機器の更新必要間隔							2.0	0.23	-	-		-

2.4 信頼性					2.6	0.19			
1	空調・換気設備				3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備				1.0	0.20			
3	電気設備				3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5	通信・情報設備				3.0	0.20			
3 対応性・更新性					2.8	0.29	3.4	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり				階高:3010			3.8	0.50	
1	階高のゆとり						5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					2.8	1.00			
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		2.0	0.17			
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.22			
6	バックアップスペース				3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)						0.30			2.3
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	景観地区:認定	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					1.5	0.30			1.5
3.1 地域性への配慮, 快適性の向上		●とも 自然	A'(全国版準用)		1.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性									3.2
LR1 エネルギー						0.40			3.7
1 建物の熱負荷抑制				住宅性能 省エネ対策等級3:予定	3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		●自然	A(全国版準用)		2.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用		●自然	A(全国版準用)	太陽光発電パネル設置	4.0	0.50			
3 設備システムの高効率化					4.8	0.40			4.8
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)				#VALUE!	5.0				
集合住宅の評価					4.8				
4 効率的運用									
4.1 モニタリング									
4.2 運用管理体制									
LR2 資源・マテリアル						0.30			2.6
1 水資源保護					2.2	0.15			2.2
1.1 節水					1.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無		●自然	A(全国版準用)		3.0	1.00			
2 雑排水等利用システム導入の有無									
2 非再生性資源の使用量削減					2.9	0.63			2.9
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20			
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	地域産木材使用	3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)	地域産木材使用	3.0	0.05			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)		3.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.3	0.22			2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避					2.0	0.68			
1 消火剤									
2 発泡剤(断熱材等)					2.0	0.50			
3 冷媒					2.0	0.50			
LR3 敷地外環境						0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮					4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮					2.1	0.33			2.1
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制					1.5	0.25			
1 雨水排水負荷低減									
2 汚水処理負荷抑制									
3 交通負荷抑制					2.0	0.50			
4 廃棄物処理負荷抑制					1.0	0.50			
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40			
1 騒音					3.0	1.00			
2 振動									
3 悪臭									
3.2 風害, 日照障害の抑制					3.0	0.40			
1 風害の抑制					3.0	0.70			
2 砂塵の抑制									
3 日照障害の抑制					3.0	0.30			
3.3 光害の抑制					3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30			

記号凡例 ●: 重点項目 ○: 低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」: 大切に使う 「とも」ともに使う 「自然」: 自然からつくる